

【重要】

JBAバスケットボール活動再開ガイドラインの運用について

2020年6月23日

関係各位

一般社団法人埼玉県バスケットボール協会
専務理事 名児耶 美久

平素より当協会の諸事業につきまして、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

公益財団法人日本バスケットボール協会（以下「JBA」という）は、新型コロナウイルス感染拡大予防対策として「JBAバスケットボール活動再開ガイドライン」（以下「JBAガイドライン」という）を6月8日付で発出しました。このガイドラインは、感染症予防や競技者・指導者等に向けた競技再開のための準備、大会運営や観戦者に向けた大会開催への道筋や基準を整理し、バスケットボール活動再開時および再開後における感染拡大防止のための留意点がまとめられています。当協会としては、このJBAガイドラインに基づき事業再開を目指します。埼玉県が発出している彩の国「新しい生活様式」安心宣言を遵守し、皆様の「安心・安全」を第一に進めてまいります。埼玉県として特に注意していただきたいことをカテゴリー別にまとめましたので、参考にして頂けますようお願い申し上げます。

記

1 段階的な緩和と移行期間／埼玉県の場合

移行期間：5月25日～7月31日

《参考：県営屋内施設等の利用について》

ステップ1 5/25～6/18 利用人員 100人以下かつ収容定員の半分程度

ステップ2 6/19～7/9 利用人員 1,000人以下かつ収容定員の半分程度

ステップ3 7/10～7/31 利用人員 5,000人以下かつ収容定員の半分程度

2 彩の国「新しい生活様式」安心宣言

彩の国「新しい生活様式」安心宣言

～私たちは以下のすべてを遵守することを宣言します～

1 三密を徹底的に回避します

- ・毎時に換気
- ・一定の数以上の入場制限
- ・社会的距離の確保

2 感染防止の対策を行います

- ・発熱などの症状がある方の制限
- ・症状のある従業員の出勤制限
- ・手洗いや手指の消毒の徹底、
手の触れる場所の消毒
- ・マスクの着用
- ・共有する物品などの最小化
- ・鼻水・唾液のついたごみは
ビニール袋に入れて密閉

3 安全のための設備にします

- ・入口等に消毒液設備、体温系の設置
- ・対面場所の遮断
- ・毎時の換気と消毒の徹底

4 安心に向けた工夫をします

- ・事前予約の最大限の活用
- ・衣服のこまめな選択

5 行いません、行わせません

- ・閉鎖空間での激しい運動・大声

6 極力制限します

- ・一度に休憩する人数の制限
- ・対面での食事や会話の制限

7 重症化リスクに配慮します

- ・高齢者や持病のある方への配慮

8 新しい働き方に向け努力しますし

- ・在宅勤務やオンライン会議
- ・ローテーション勤務、時差通勤

埼玉県 社会人に於けるガイドラインの運用について

埼玉県社会人バスケットボール連盟

I チーム活動

1 チーム活動における留意点

ＪＢＡガイドライン（手引き）Ｐ８～Ｐ１８を参考に感染防止対策や熱中症予防対策を講じながら段階的にステップアップしながら活動することを推奨する。

（１）感染対策・ケガ防止対策

① 感染対策責任者の配置

- ・責任者を中心に関係者全員が感染症対策や段階的な活動再開に向けたステップに関する共通認識を持てるよう情報共有を図る。
- ・「チーム・指導者 新型コロナウイルス対応版チェックリスト」の活用

② 感染対策

- ・ソーシャル・ディスタンスを確保
- ・マスクの使用
運動中以外はマスクを着用する。
コーチやその関係者は常にマスクを使用する。
マスク着用時は熱中症には十分注意する。
- ・こまめな手洗いや手指の消毒を行う
- ・備品などの共有をしない。（ボール以外）
- ・密を避ける。

③ ケガの防止

- ・活動自粛期間中が長期であったためケガのリスクが高いことを念頭に活動を行う。
- ・気温や湿度に基づき活動内容を調整し熱中症のリスクを下げる。
- ・十分な睡眠やバランスの取れた食事をとり疲れを残さないように注意する。

（２）段階的活動再開ステップ

ＪＢＡガイドライン「活動レベル２」以降に開始。

手引きＰ１２～Ｐ１４を参考に、各チームで活動再開に向けたステップを定め、段階的に活動を行う。

また、練習時においては必ず感染対策責任者を配置し、選手やスタッフの体調管理および連絡体制を整え、もしも感染が判明した時に迅速な

対応が図られるようにする。

「活動再開ステップ5」となった場合でも、感染およびケガのリスクへの対応は継続し、ソーシャル・ディスタンスの確保やマスクの着用などを「新しい生活様式」として継続実施する。

Ⅱ 競技会について

- (1) 今後の競技会の再開について
8月下旬以降の活動再開を目指す
- (2) 開催条件
JBAガイドライン（手引き）P19の1）～5）による
- (3) 開催の判断基準
JBAガイドライン（手引き）P19～P20の「活動レベル4」以降
- (4) 感染防止対策
JBAガイドライン（手引き）P20～P24に基づき事前の対応から事後対応までの感染防止対策を講じます。
 - ① 事前の対応
 - 大会要項、注意事項へ新型コロナウイルス感染防止対策ガイドラインの織り込み
 - 余裕を持った大会日程の策定
 - 競技会場に入場を認める者
 - ・選手、チームスタッフ（事前登録）
感染対策責任者の設置
 - ・大会役員
感染対策責任者の設置
 - ・審判
感染対策責任者の設置
 - 感染対策責任者の役割
 - ・大会本部
大会全体の感染対策責任者として一般社団法人埼玉県バスケットボール協会や関連箇所との連携を図る
 - ・大会役員
大会当日の感染対策責任者として、大会役員の健康状態の把握や各チームや審判と連携を図り、チームの感染防止対策の実施状況を確認する

- ・ 審判
大会当日の審判の感染対策責任者として各審判の健康状態の把握と感染防止対策の実施

- ・ チーム
チームの感染対策責任者として、選手・チームスタッフの体調を把握し、チームでの感染防止対策を実施する

➤ 健康チェックシートの提出について

【チーム】

- ・ 選手、チームスタッフはチームの感染対策責任者に「健康チェックシート」（提出用 チーム用）を提出
- ・ チームの感染対策責任者はチームメンバーから提出された健康チェックシートから参加者全員の氏名・連絡先・健康状態をチーム提出用の健康チェックシートへ記載し大会本部へ提出する

【大会役員】

- ・ 「健康チェックシート」（提出用 大会役員用）を大会感染対策責任者へ提出する

【審判】

- ・ 「健康チェックシート」（提出用 審判用）を審判感染対策責任者へ提出する

➤ 代表者会議

- ・ 密にならないようにカテゴリー毎の開催とする
- ・ 新型コロナウイルス対応についてガイドラインの周知徹底
- ・ 事前および当日の対応の周知徹底
- ・ 感染対策責任者の役割と連絡体制の周知
- ・ ごみの持ち帰りの徹底
- ・ 更衣室利用ルール（人数制限など）の徹底

② 競技会場における感染対策

- 「健康チェックシート」（チーム提出用）の回収とチーム感染対策責任者の確認
- 大会役員および審判の「健康チェックシート」の回収
- 連絡体制の確認
- 消毒液や手指洗淨ハンドソープの準備
- ドアや共有部分のこまめな消毒
- ベンチの消毒は各チームがベンチ入りの時に行う
- ごみ持ち帰りの徹底

- 更衣室利用ルールの遵守確認
- ③ 事後対応
 - 感染者が出た場合の連絡、報告体制
 - 感染対策の実施状況のフィードバック
 - 以降の大会への引継ぎ

Ⅲ 会議（役員会等）

- ・蜜になるような大人数の会議は当面実施しない。
- ・部門ごとの打ち合わせを実施し事務局が取りまとめの上、全体へ配信を行う。

以上の内容は、2020年6月8日現在で得られている知見等に基づき作成されています。今後、状況に応じて見直すことがあり得ることにご留意ください。

以上

埼玉県社会人バスケットボール連盟
理事長 多田羅 朋子